

平成30年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

県問題解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
26	2018年(平成30年)5月1日現在、茨城県の総人口は2,885,625人で、約290万人です。	2
27	風土記は、713年(和銅6年)に、元明天皇の詔(みことのり)により、地方の歴史や文化を記した地誌のことで、現在、出雲国風土記、播磨国風土記、肥前国風土記、常陸国風土記、豊後国風土記の5つが残っています。茨城県では、2013年(平成25年)に常陸国風土記1300年記念事業を実施しました。	3
28	茨城県内で一番世帯人員が多い市町村は、八千代町で1世帯あたり3.03人です。一番世帯人員が少ないのは、水戸市で1世帯あたり2.25人です。(2018年(平成30年)5月1日現在)	4
29	徳川慶喜(よしのぶ)は、1837年(天保8年)水戸藩第9代藩主徳川斉昭(なりあき)の7番目の子として生まれました。弘道館で学んだ後、1847年(弘化4年)一橋家(ひとつばしけ)を継いで、1866年(慶応2年)第15代将軍になりました。翌年の1867年(慶応3年)に大政を奉還した江戸幕府最後の将軍です。	4
30	八溝山は大子町、福島県、栃木県と3県にまたがる標高1,022メートルの山です。筑波山は877メートル、加波山は709メートル、高鈴山は623メートルです。茨城県というと筑波山が有名ですが、茨城県内には筑波山よりも高い山が4つあります。(高笹山921メートル、栄蔵室882メートル、池ノ平879メートル)	4
31	2017年(平成29年)の農林水産省「鶏卵流通統計調査結果」によると、鶏卵は茨城県が生産量全国第1位を誇る畜産物です。	1
32	「残したい“日本の音風景100選”」は、1996年(平成8年)環境省(当時環境庁)において「全国各地で人々が地域のシンボルとして大切に、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境(音風景)を広く公募し、音環境を保全する上で特に意義があると認められるもの」として選定されました。5つの入り江をもつことから「五浦(いづら)」と呼ばれる五浦海岸は、波の浸食により複雑に削り取られた崖や岩礁(がんしょう)から太平洋の荒波が聞こえます。風光明媚な地で海に突き出た断崖上には岡倉天心の六角堂があります。	1
33	郷土を美しい緑で包み、よりよい生活環境をつくりだす目的で1966年(昭和41年)、各都道府県の木を選ぶ「緑のニッポン全国運動」が展開されました。茨城県では、県民の応募数の一番多かった「ウメ」が県の木として選ばれました。	3
34	板谷波山(いたやはざん)は、1872年(明治5年)、真壁郡下館城下(現在の筑西市)に生まれました。正規の美術教育を受けた「アーティスト」としての陶芸家としては、日本における最も初期の存在です。1953年(昭和28年)陶芸家として初めて、文化勲章を受章しました。	1
35	茨城をたべよう運動とは、2012年(平成24年)11月から始まり、今年で7年目を迎える県産農林水産物を食べて応援しようという地産地消運動です。シンボルマークのデザインは、本県在住のデザイナー藤代範雄氏によるもので、毎年、県内全小学5年生を対象にこのデザインの入ったクリアファイルが配布されています。	4
36	茨城県警察では、2016年(平成28年)初めてトイプードルを警察犬として囑託しました。トイプードル以外の警察犬は全てシェパード等の大型犬となっています。	4
37	水戸徳川家の刀剣帳『武庫刀篋(ぶことうさん)』によれば、伊達政宗の愛刀とされており、政宗が小姓を手打にした際に近くににあった燭台も一緒に切ったことから、「燭台切(しょくだいきり)」と名付けられました。現在は伊達家から水戸徳川家に譲られ、大切に保管されています。	2
38	舟塚山古墳(ふなつかやまこふん)は、全長186メートル、後円部径90メートル、高さ11メートル、前方部幅100メートル、高さ10メートルの県内最大の前方後円墳です。墳形から、5世紀後半の築造と推定されています。	1
39	茨城のメロンは、19年連続で全国一の生産量を誇っています。※2016年(平成28年)農林水産省統計。また、メロンの旬である5月から6月を「いばらき“ハッピー・メロン・シーズン”」として、県内外で試食販売やイベント等、PR活動を行っています。	3
40	茨城県立カシマサッカースタジアムは、日本初の本格的サッカースタジアムとして建設され、Jリーグ鹿島アントラーズのホームグラウンドにもなっています。また、「茨城カシマスタジアム」の名称で、2020年東京オリンピックサッカー競技会場として正式承認されました。	2
41	答えは、肝(きも)です。あんこうは茨城県を代表する冬の味覚です。各部位は七つ道具と呼ばれ、それぞれの風味や食感を活かした料理で楽しむことができます。	3
42	「県の石」は、一般社団法人日本地質学会が全国47都道府県において特徴的に産出、または、発見された岩石・鉱物・化石を選定したものです。茨城県では八溝山地南部で産出する花崗岩(かこうがん)、常陸太田市周辺で産出するリチア電気石、常陸大宮市で産出したステゴロフォドンがそれぞれ選定されています。	3
43	竜神大吊橋では、シーズン常設開設サイトとしては、日本一の高さである約100メートルからのバンジージャンプを体験することができ、県内外から多くの挑戦者が訪れています。	4
44	鹿行(ろっこう)地域の特に海岸線沿いは、風の状態がよく、風力発電を行うのに適した地域だと言われています。	2
45	1はサロマ湖、3が日本一の大きさの琵琶湖、4が中国の太湖(たいこ)の面積です。西浦・北浦・常陸利根川で構成される霞ヶ浦は日本で2番目の約220平方キロメートルの大きさです。	2
46	県立中央病院と県立こころの医療センターがあるのは、笠間市です。	1
47	毎年決まった時期に開かれるのが定例会です。通常2月、6月、9月、12月の時期で年4回開かれます。	2
48	土浦市立図書館は、土浦市内の文京町から移転して2017年(平成29年)11月27日にオープン。土浦駅のペDESTリアンデッキと直結しており、地上4階建ての2階から4階が図書館となっています。面積は旧館の4倍以上に拡大し、約5,120平方メートルで県内の市町村立図書館では最大で、館内の閲覧席は約600席もあります。ちなみに、2番目は筑西市立中央図書館、3番目は潮来市立図書館です。	1
49	2016年(平成28年)品目別農業産出額で、茨城県が1位の品目は、鶏卵、かんしょ、はくさい、れんこん、メロン、ピーマン、ほしいも、みずな、チンゲンサイ、切り枝、芝、くり、セリの13品目です。	3
50	「いきいき茨城ゆめ国体」の総合開会式及び「いきいき茨城ゆめ大会」の開会式の式典は、すべて笠松運動公園陸上競技場で行われます。ほかに「いきいき茨城ゆめ国体」の総合閉会式、「いきいき茨城ゆめ大会」の閉会式も笠松運動公園陸上競技場で行われます。	4